

貸 借 対 照 表

(令 和 6 年 3 月 3 1 日 現 在)

(単 位 : 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	377,010,494	【 流 動 負 債 】	86,162,700
現金及び預金	311,963,651	受託販売未払金	5,835,902
売掛金	70,175,728	買掛金	120,622
貸倒引当金	△ 13,147,145	一年内返済長期借入金	12,000,000
貯蔵品	441,238	未払金	17,468,277
未収金	7,322,172	未払法人税等	530,000
立替金	189,400	未払消費税	17,812,900
前払費用	65,450	預り金	3,374,730
		前受金	19,616,777
		賞与引当金	9,403,492
【 固 定 資 産 】	104,976,378	【 固 定 負 債 】	148,323,685
(有形固定資産)	29,516,041	長期借入金	38,000,000
建物	1,307,267	長期未払金	1,344,200
構築物	156,530	預り保証金	8,330,000
機械装置	9	役員退職給付引当金	18,145,646
車両運搬具	1	従業員退職給付引当金	82,503,839
工具器具備品	6,052,234		
土地	22,000,000	負 債 合 計	234,486,385
(無形固定資産)	49,347,724	純 資 産 の 部	
電話加入権	863,044	【 株 主 資 本 】	[247,500,487]
ソフトウェア	48,480,000	資本金	100,000,000
預託金	4,680	資本準備金	25,000,000
(投資その他の資産)	26,112,613	(利益剰余金)	(122,500,487)
投資有価証券	1,424,776	利益準備金	31,250,000
関係会社株式	19,110,000	(その他利益剰余金)	(91,250,487)
開設者預託金	5,300,000	別途積立金	30,000,000
長期従業員貸付金	76,112	繰越利益剰余金	61,250,487
差入保証金	201,725		
		純 資 産 合 計	247,500,487
資 産 合 計	481,986,872	負債及び純資産合計	481,986,872

個 別 注 記 表

令和 5 年 4 月 1 日 から
令和 6 年 3 月 31 日 まで

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- 1 有価証券の評価基準及び評価方法
売買目的有価証券
原価法を採用しています。
- 2 たな卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品 最終仕入原価法に基づく原価法を採用しています。
- 3 固定資産の減価償却方法
 - (1) 有形固定資産 定率法を採用しています。
ただし、平成13年5月以後に購入した建物については定額法を採用しています。
 - (2) 無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）にて均等償却を行っています。
- 4 役員退職給付引当金
役員の退職金の支出に備えるため、退職給付債務全額を計上しています。
- 5 従業員退職給付引当金
従業員の退職金の支出に備えるため、退職給付債務全額を計上しています。
- 6 賞与引当金
従業員の賞与支出に備えるため、支給基準に基づいて計上しています。
- 7 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税抜き方式を採用しています。
- 8 貸倒引当金
取引先が支払不能となる可能性がある金銭債権に対して、将来の損失額を予測して計上しています。

II 貸借対照表に関する注記

- 1 担保に供している資産

土 地 (帳簿価格)	22,000,000 円	短期借入金
定期預金	100,000,000 円	〃
定期預金	5,300,000 円	開設者預託保証金
- 2 有形固定資産の減価償却累計額 92,193,446 円

Ⅲ 損益計算書に関する注記

1 関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債権	12,525,108 円
短期金銭債務	0 円
長期金銭債務	1,000,000 円

Ⅳ 株主資本等変動計算書に関する注記

1 当該事業年度の末日における発行済株式の総数

250,000 株

2 令和5年6月22日に開催された第62期定時株主総会の承認により配当準備金を取り崩しました。

(1) 取り崩しを行った配当準備金の金額

31,250,000 円

(2) 取り崩しの目的

繰越利益剰余金補填のため

Ⅴ (株)藤本畜産債権回収に関する注記

主要取引先である(株)藤本畜産が、令和5年11月21日に破産開始決定を受けたことにより、破産開始決定前の取引で発生した売掛金の回収が困難となる見込みです。

以後、破産手続きに入りますが、今期は回収不能見込み額の半額である13,147,145円を貸倒引当金として計上し、手続終結の通知があった時に回収不能額となった全額を貸倒損失として計上します。

Ⅵ その他の注記

1 受取手形中の不渡り手形

0 円

以上